

サプライチェーンを意識した企業グループ内のセキュリティ対策

Security measures within corporate groups focusing on the supply chain

高濱 聡一郎・法制倫理分科会・情報セキュリティ大学院大学

1. 研究背景

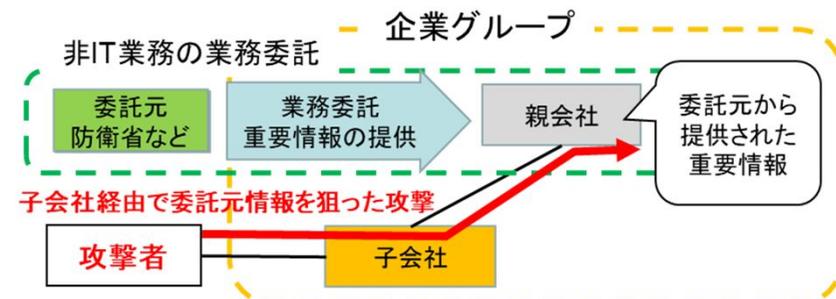
近年、セキュリティ対策が比較的行われていないグループ会社や取引先を介してサイバー攻撃を行う「サプライチェーン攻撃」が問題となっている。特に企業グループを狙った業務委託に関するサプライチェーン攻撃は、被害範囲が拡大しやすく、攻撃が高度になる傾向が強いため、被害が大きくなりやすい。また、人口減少による市場縮小や経営者の高齢化などを背景にM&Aが進み、企業グループが拡大していく可能性が高い。以上のことから、企業グループにおけるサプライチェーン攻撃に対するセキュリティの重要性は高まっている。本研究では、企業グループ所属会社を委託先とする非IT業務に関する業務委託のサプライチェーン攻撃を研究の対象とする。

2. 目的

非IT業務の業務委託契約において、関係者の思惑の違いが、企業グループ全体のセキュリティ強度に与える影響を明らかにし、改善するための提案を行うことで、企業グループのセキュリティ向上の一助となることを目的とする

3. 先行研究

- ◆ ITサプライチェーンの業務委託に関して、委託元と委託先でそれぞれの思惑の違いがセキュリティ強度を低下させるということが先行研究で明らかになっていることを確認した。
- ◆ 非IT業務の業務委託や、企業グループの観点でセキュリティ対策を決定する関係者の思惑の違いについての研究は行われていないことを確認した。



4. 今後の研究計画

今後は、公的機関や調査団体などから、データを集め、関係者の思惑の違いを明らかにし、企業グループのセキュリティに対する影響を確認、改善提案を行う。提案内容は、既存のガイドラインなどと比較するなどし、有効性を評価する。